

## トラック輸送情報（平成20年1月分）

平成20年4月15日

国土交通省 総合政策局 情報管理部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、佐藤 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

## 1. 特別積合せ貨物

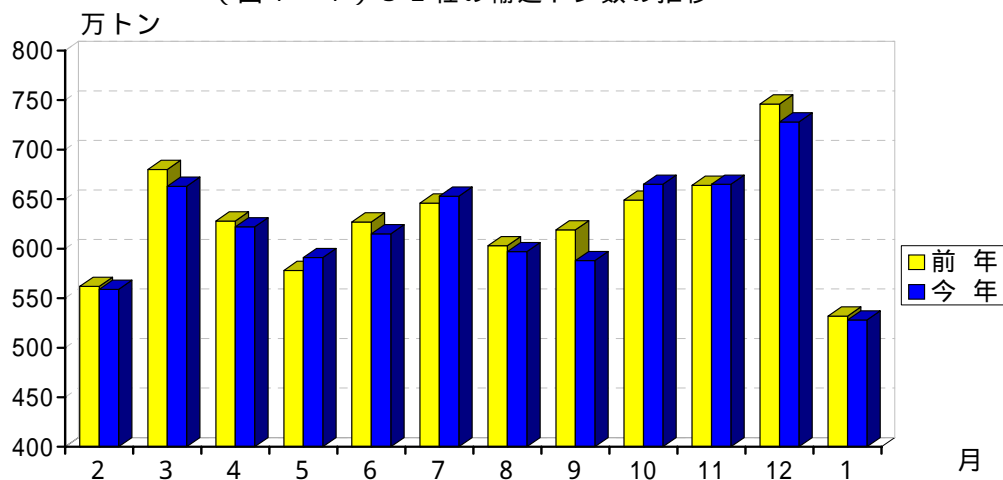
## (1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、5,277,228トンで、前月と比べ総輸送量が約201万トン減少したため、前月比72.5%（季節調整済み97.1%）となり、前年同月との比較では、約4万5千トン減少したため、前年同月比99.2%の実績であった。

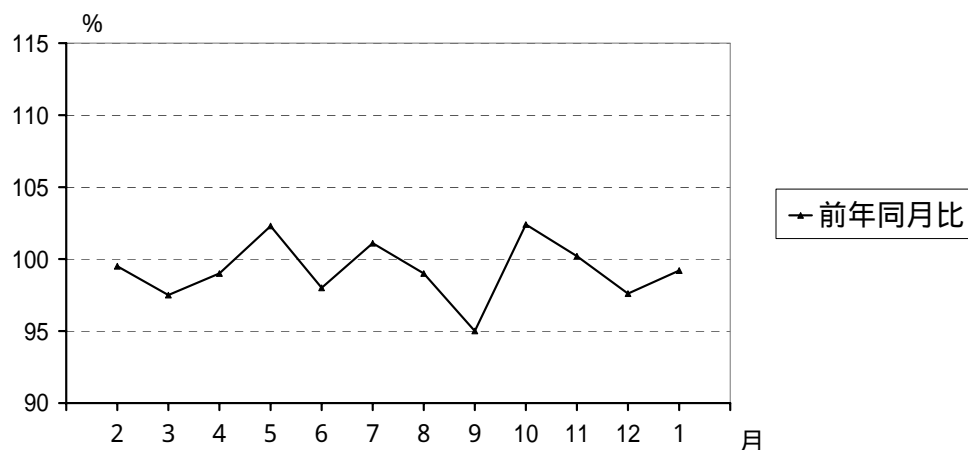
なお、平均稼働日数は21.2日で、前月と比べ1.9日の減少、前年同月と比べ0.4日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、248,926トンで、前月と比べ約6万6千トン減少したため、前月比78.9%となり、前年同月との比較では、約2千5百トン増加したため、前年同月比101.0%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

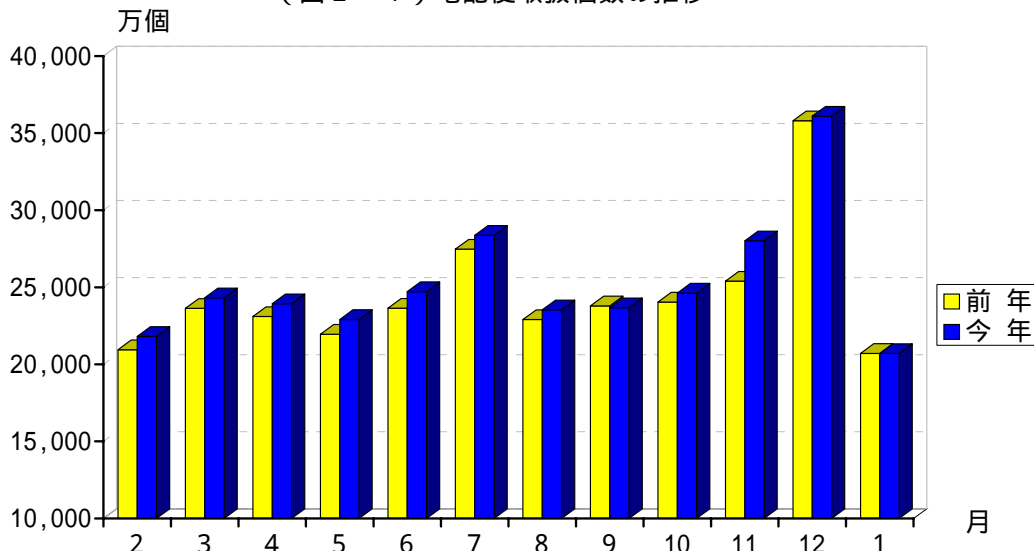


(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、207,073 千個で、前月と比べ 約 1 億 5,397 万個減少したため、前月比 57.4% (季節調整済み 101.5%) となり、前年同月との比較では、約 3 万 5 千個減少したため、前年同月比 100.0%の実績であった。

(図 2 - 1、図 2 - 2 参照)

(図 2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2 - 2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 32 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、年末繁忙期が終了したことや正月休みによって稼働日数が減少したこと等により、全般的に貨物量は減少した。減少要因としては、全ての品目で工場・生産地からの貨物減、季節的需要減がみられたほか、「日用品」及び「その他 (宅配便・百貨店配送品)」ではデパート・スーパーからの貨物減による減少もみられた。地域的には、ほぼ全ての品目で関東地方、中部地方及び近畿地方といった大都市圏をはじめ、全国的に貨物量の減少がみられた。

前年同月と比べると、貨物量は微減であった。品目別では、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「食料工業品」で工場・生産地からの貨物減を要因とする減少回答がみられた。また、「食料工業品」、「日用品」では、商社・問屋からの貨物減及び倉庫から出る貨物減を要因とする減少回答もみられた。地域的には、東京、愛知、大阪、福岡等を含む大都市圏を中心に、東北、中国等において減少している。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品			10	3	5	野菜、青果物	東北、関東地方、中国	4, 8
	金属製品		1	17	8	1	その他の金属製品	関東地方、中部地方、近畿地方、中国	4, 8
	機械			16	9	2	その他の機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7, 8
	化学工業品			14	15	1	その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、四国	4, 7, 8
	繊維工業品		1	19	6	3	織物	東北、関東地方、愛知、近畿地方、中国	4, 8
	食料工業品			9	13	5	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、四国、福岡	4, 5, 7, 8
	日用品			9	15	5	書籍・印刷物、衣服、文具、玩具、その他の日用品	全国	2, 4, 5, 7, 8
	その他			13	7	8	宅配便、百貨店配送品	関東地方、愛知、近畿地方、中国、全国	2, 4, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		1	13	3	1			
	金属製品			18	9		その他の金属製品	東京、中部地方、大阪、中国、福岡	4
	機械	2		17	8		その他の機械	関東、中部、大阪、兵庫、福岡	4
	化学工業品		2	16	11	1	その他の化学工業品	関東地方、中部地方、近畿地方、中国	4
	繊維工業品	1	1	22	5				
	食料工業品		2	14	9	2	その他の食料工業品、加工食品	東京、関東、愛知、大阪、兵庫、中国、福岡	4, 5, 7
	日用品	1	1	15	10	1	書籍・印刷物、衣服、その他の日用品	東北、関東地方、愛知、大阪、兵庫、九州	5, 7
	その他		3	17	8		宅配便 百貨店配送品	神奈川、大阪	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 809 社 / 調査対象事業者数 1,066 社）の輸送量は、前月比 87.1%、前年同月比 101.9%であった。

### (表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	87.1%	84.1%	86.7%	90.4%	85.5%	92.0%	85.0%	89.3%	89.1%	87.2%	89.1%
前年同月比	101.9%	103.0%	102.4%	99.5%	106.8%	101.3%	99.6%	101.2%	99.1%	102.0%	108.1%

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 84.1%、対前年同月比 103.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「廃棄物」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「鉄鋼」の輸送量にも増加がみられた。一方、建設関係の需要減等により「木材」、「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が減少し、中でも「砂利・砂・石材」の減少が顕著であった。また、季節的需要減等により「野菜・果物」、「その他の農産品」、「動植物性飼・肥料」等多く品目で輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横這いで推移するものと予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 86.7%、対前年同月比 102.4%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」の輸送量が増加したほか、輸出入増等により「工業用非金属鉱物」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減等により「野菜・果物」、「金属製品」、「食料工業品」、「日用品」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「水産品」、「セメント」等多くの品目で輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 90.4%、対前年同月比は 99.5%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」、「揮発油」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「金属製品」の輸送量が減少したほか、「紙・パルプ」、「食料工業品」、「その他の製造工業品」、「動植物性飼・肥料」等多くの品目で輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 85.5%、対前年同月比は 106.8%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増により「非鉄金属」の輸送量が増加したほか、輸出入増により「コークス・その他の石炭製品」の輸送量にも増加がみられた。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が減少したほか、商社・問屋からの貨物減等により「揮発油」、「その他の石油製品」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 92.0%、対前年同月比は 101.3%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「機械」、「紙・パルプ」、「食料工業品」、「日用品」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「その他の農産品」の輸送量が減少したほか、「水産品」、「金属製品」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 85.0%、対前年同月比は 99.6%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「その他の製造工業品」の輸送量が増加した。一方、年始の季節的需要減等により「食料工業品」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「金属製品」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横這い傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 89.3%、対前年同月比は 101.2%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増により「その他の化学工業品」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「砂利・砂・石材」、「金属製品」、「機械」、「セメント」、「紙・パルプ」、「食料工業品」、「日用品」等多くの品目で輸送量の減少がみられ、特に「食料工業品」、「日用品」で顕著であった。今後の輸送見通しは、年度末の3月に向け、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 89.1%、対前年同月比は 99.1%であった。品目別には、「鉄鋼」、「機械」、「その他の石油製品」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「野菜・果物」、「水産品」、「食料工業品」の輸送量が減少した。また、一部では積雪により運行計画に支障が生じた地域もあった。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 87.2%、対前年同月比は 102.0%であった。品目別には、建設関係の需要増により「鉄鋼」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「機械」の輸送量にも増加がみられた。また、「その他の窯業品」の増加も顕著であった。一方、季節的需要減等により「野菜・果物」、「畜産品」、「砂利・砂・石材」、「食料工業品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 89.1%、対前年同月比は 108.1%であった。品目別には、「その他の農産品（花卉）」、「食料工業品（飲料、冷凍品等）」などの減少が目立ったほか、「日用品」、「鉄鋼（鋼材等）」の輸送量にも減少がみられた。年始のため、休日が多いこと等が減少理由と考えられる。一方、「取り合わせ品（引越貨物）」の輸送量に若干の増加がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局										
		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増		5									5
	減											
2. 野菜・果物	増		1	1	2				2	2		8
	減	4	3		2			1	3	5		18
3. その他の農産品	増											
	減	5				1			1	1	1	9
4. 畜産品	増	1	1									2
	減		1					1		3		5
5. 水産品	増						1					1
	減	3	2			1		2	2			10
6. 木材	増	1				1		1				3
	減	5	1		1		1	2		1		11
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	1										1
	減	1	1									2
9. 金属鉱物	増											
	減		1									1
10. 砂利・砂・石材	増	2										2
	減	11	3		3			2		4		23
11. 工業用非金属鉱物	増		2									2
	減		1		1							2
12. 鉄鋼	増	2	2				1	1	1	2		9
	減	1	2		2		1	2			1	9
13. 非鉄金属	増				1							1
	減	1					1					2
14. 金属製品	増				1			1				2
	減	1	3	1	2	1	2	2				12
15. 機械	増			1		3	1	1	1	2		9
	減		1	1	2		2	4		1		11
16. セメント	増	1								1		2
	減	5	5		2			3	1	2		18
17. その他の窯業品	増						1	1		4		6
	減		1		2					1		4

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸 信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増			1						
	減	1			1							2
19. その他の石油製品	増	1	1						1			3
	減	1	1	1	5			1		2		11
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21. 化学薬品	増				1			1				2
	減		1		1					1		3
22. 化学肥料	増											
	減	1	1					1		1		4
23. その他の化学工業品	増		1					3				4
	減						1	1	1	1		4
24. 紙・パルプ	増		2		1	2	1					6
	減	1	2	1	1			3		1		9
25. 繊維工業品	増									1		1
	減							1	1			2
26. 食料工業品	増					2	2	1		1		6
	減	2	11	1	1	1	5	8	2	4	3	38
27. 日用品	増	1			1	2			1			5
	減	2	3		1	1		4		3	1	15
28. その他の製造工業品	増		1				2	1				4
	減			1	1					1		3
29. 金属くず	増											
	減											
30. その他のくずもの	増											
	減			1								1
31. 動植物性飼・肥料	増									1		1
	減	5	2	1				1		3		12
32. 廃棄物	増	8			1					1		10
	減	3		1				1		3		8
33. 輸送用容器	増	1										1
	減				1		1			2		4
34. 取り合せ品	増							1			1	2
	減	2	4			1		2		5	2	16
35. その他	増			2	1	1	1	1		1	1	8
	減			3	5	1	5	1	1	3		19